

午 後

問 題

◎ 指示があるまで開かないでください。

社 — 25

注 意 事 項

1 受験番号等の記入方法

はじめに、解答用紙に氏名を記入し、男女のいずれかを○で囲んでください。次に、右側の一番上の欄に受験番号を記入し、その下のマークシートの欄には、受験番号の英字及び数字に対応する○を、次表の例にならって塗りつぶしてください。

(例) 受験番号 S 0 1 1 — 2 3 4 5 6 の場合

社会福祉士国家試験
(午後) 解答用紙

氏 名	福祉太郎
性 別	Ⓐ 男 ・ 女

	S	0	1	1	—	2	3	4	5	6
受 験 番 号	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○
	①	①	●	●		①	①	①	①	①
	②	②	②	②		●	②	②	②	②
	③	③	③	③		③	●	③	③	③
	④	④	④	④		④	④	●	④	④
	⑤	⑤	⑤	⑤		⑤	⑤	⑤	●	⑤
	⑥	⑥	⑥	⑥		⑥	⑥	⑥	⑥	●
	⑦	⑦	⑦	⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
	⑧	⑧	⑧	⑧		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
	⑨	⑨	⑨	⑨		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

(注意) この場合、0 も必ず塗りつぶしてください。

2 午後の試験問題数は 67 問で、解答時間は 1 時間 45 分です。

3 解答方法

(1) 出題形式は五肢択一を基本とする多肢選択形式となっています。各問題には 1 から 5 ま で 5 つの答えがありますので、そのうち、問題に対応した答えを〔例 1〕では 1 つ、〔例 2〕 では 2 つを選び、解答用紙に解答してください。

〔例 1〕 問題 201 次のうち、県庁所在地として正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 函館市
- 2 郡山市
- 3 横浜市
- 4 米子市
- 5 北九州市

正答は「3」ですので、解答用紙の

問題 201 ① ② ③ ④ ⑤ のうち、③ を塗りつぶして、

問題 201 ① ② ● ④ ⑤ としてください。

〔例2〕 問題 202 次のうち、首都として正しいものを2つ選びなさい。

- 1 シドニー
- 2 ブエノスアイレス
- 3 上海
- 4 ニューヨーク
- 5 パリ

正答は「2と5」ですので、解答用紙の

問題 202 ① ② ③ ④ ⑤ のうち、② ⑤ を塗りつぶして、

問題 202 ① ● ③ ④ ● としてください。

- (2) 採点は、光学式読取装置によって行いますので、解答用紙への解答は、鉛筆を使用し、○の外にはみださないように濃く塗りつぶしてください。

良い解答の例……………●

悪い解答の例……………    

(このような場合は、正答であっても)
解答したことになりません。

- (3) 一度解答したところを訂正する場合は、消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残ったり、 のような消し方などをした場合は、訂正又は解答したことになりませんので注意してください。
- (4) 〔例1〕の問題に2つ以上解答した場合は、誤りになります。〔例2〕の問題に1つ又は3つ以上解答した場合は、誤りになります。
- (5) 解答用紙は、折り曲げたり、チェックやメモなどで汚したりしないよう特に注意してください。

4 その他の注意事項

- (1) 印刷不良や落丁があった場合は、手を挙げて試験監督員に連絡してください。
- (2) 問題の内容についての質問には、一切お答えできません。

社会調査の基礎

問題 84 事例を読んで、調査の企画(目的と方法)に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

居宅サービス事業者の管理者であるHさんは、日ごろから各事業所が提供するサービスの質の向上に努めてきた。調査研究のために外部資金として30万円を得たので、サービスの質の向上に資する目的で調査研究を企画することになり、いくつかの企画を提示した。現在のサービス利用者数は、315名である。

- 1 事業者の管理運営に対する客観的な評価を目的として、雇用しているサービス従事者52名に記名式のアンケートを記入してもらう。
- 2 提供しているサービス内容へのフィードバックを得る目的で、住民基本台帳から無作為に選んだ300名に、無記名式のアンケート調査を郵送での配布・回収により行う。
- 3 今後新たに必要なサービスや支援の把握を目的として、全員の利用者に対して、社会調査を専門に行う業者に委託して訪問面接調査を行う。
- 4 利用者のサービスへの満足度の把握を目的として、全員の利用者に対して、無記名式のアンケート調査を郵送での配布・回収により行う。
- 5 個々のサービス従事者の業務の評価を目的として、全員の利用者に対して、担当しているサービス従事者が面接で聞き取りを行う。

問題 85 標本調査の長所と短所に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 関心の対象である全員にではなく、その一部分の人々にのみ調査を行う限り、どれだけ適切に設計・実施された標本調査でも必ず標本誤差が生じる可能性がある。
- 2 訪問個別面接調査を行う場合でも、本来は標本調査より全数調査を行う方が誤差が生じないので望ましい。
- 3 標本抽出法には確率抽出法と非確率抽出法があり、実施が可能でさえあれば、偶然に左右されない非確率抽出法を行うのが望ましい。
- 4 無作為抽出が適切に行われていれば、調査対象者が多くても少なくても調査から得られる知見に違いはない。
- 5 標本調査によって母集団の性質についての統計的な推測ができるのは、母集団に含まれるすべての人が同じ確率で選ばれ得るような標本抽出の手続きをとる場合である。

問題 86 測定の尺度水準に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 名義尺度は、単に対象を分類することだけに意味があるものなので、代表値を求めることはできない。
- 2 順序尺度は、名義尺度のようにただ分類するだけではなくて測定値の大小にも意味があるので、算術平均を計算することにも意味がある。
- 3 間隔尺度は、測定値の順序だけでなくその間隔(=差)にも意味があるが、測定値の比には意味がないので、「3と1の差」は「2と1の差」の2倍であるとは言えない。
- 4 比例尺度(比率尺度、比尺度)では測定値がゼロとなる点が決まっているが、間隔尺度では尺度上のどこをゼロ点とするかが自由に定められる。
- 5 名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度のうち、中央値・算術平均・標準偏差の3つの統計量すべてを有意義に計算することができるのは、比例尺度のみである。

問題 87 社会調査におけるデータ収集方法に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 郵送調査法においては、未回収の対象者に対して何度か督促を行うことを想定してあらかじめ督促状を準備する。
- 2 個別面接調査法は、個々の対象者に調査員が直接面接して行う自計式の調査である。
- 3 RDD (Random Digit Dialing)法を用いた電話調査では、対象とする調査地域の電話帳を用いる。
- 4 集合調査法は、一種の集団効果が作用してバイアスが生じることがある。
- 5 留置調査法では、対象者を個別に訪問するため、対象者本人の回答であることを確認できるというメリットがある。

問題 88 変数の散布度(バラつき、散らばり具合)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 平均値と中央値の差は偏差と呼ばれ、散布度の指標としてしばしば用いられる。
- 2 最大値は、変数がどの程度大きな値まで広がっているかを示しているので、散布度の指標である。
- 3 四分位範囲(第3四分位数と第1四分位数の差)は、分布の両端からそれぞれ4分の1の測定値を捨てた後の、中央の半数の測定値の範囲であり、散布度として用いられる。
- 4 分散と標準偏差はいずれも散布度の指標であるが、この2つの間には必ずしも決まった関係はない。
- 5 散布度の指標である分散とは、個々の測定値と平均値の差の絶対値をすべて足し合わせたものである。

問題 89 社会調査の結果をグラフで図示する際の留意点に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 時系列で測定を行った結果のデータを図示するには、ヒストグラムを用いるのがよい。
- 2 利用者のサービス満足度を10段階で評価する5つの指標を用いて測定した結果は、レーダーチャートを利用して図示するのがよい。
- 3 ある質問に対する複数回答方式への回答結果は、円グラフを用いて図示するのがよい。
- 4 性別と所得額の間を関係を図示するには、縦軸に性別をとり横軸に所得額をとった散布図を作成するのがよい。
- 5 ある質問に対する単数回答方式への回答結果の構成比を図示するには、折れ線グラフを用いるのがよい。

問題 90 調査手法としての観察法に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 観察法は質的データを収集するための方法であり、量的データの収集においては用いられない。
- 2 統制的観察と非統制的観察の違いは、研究者が部外者として観察を行うか否かである。
- 3 フィールドワーカーの調査者としての立場は、「完全な参加者」から「完全な観察者」まで4段階があるが、よりよいデータ収集のためには「完全な観察者」の役割を目指すのが望ましい。
- 4 フィールドワークにおいて、観察されたことのメモをとる場合には、周囲の状況にかかわらず、観察を行ったその場で速やかにとることが望ましい。
- 5 参与観察において、その集団生活に慣れ、調査対象に同化し過ぎることは望ましくない。

相談援助の基盤と専門職

問題 91 Jさん(50歳, 女性)は, 夫と義父の3人暮らしで, 1年前から寝たきりになった義父の介護を1人で行っていた。義父は要介護認定を受けており, 何度か介護保険サービスの利用を勧められていたが, 夫は, 介護は嫁の役割だからと断り, Jさんに任せていた。Jさん自身もそう思い, 孤独でつらい生活を過ごしていた。民生委員のKさんは, そんなJさんを心配して, 社会福祉協議会のL社会福祉士を紹介した。L社会福祉士は, 事務所に訪れたJさんの話に耳を傾け, Jさんの忍耐強さや様々な工夫を認めて評価した。Jさんは, その後もL社会福祉士と話すうちに, 自分が介護だけでなく, 他のこともできるのではないかと思えるようになった。また, 夫へのL社会福祉士の働きかけもあって, Jさんは夫とも介護について何度も話し合い, 介護サービスを利用することになった。他の介護者とも交流するようになり, これからは自分と同じような思いをしている人達の支えになろうと考えている。

次のうち, L社会福祉士が行った支援機能に当たるものとして, 適切なものを2つ選びなさい。

- 1 コンサルテーション
- 2 アウトリーチ
- 3 エンパワメント
- 4 ソーシャル・アクション
- 5 アドボカシー

問題 92 ソーシャルワークのアメリカにおける専門職化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 全米慈善矯正会議(1897年)において、リッチモンド(Richmond, M.)は応用博愛学校の必要性を提唱し、慈善活動の効果的な実践のための夏期養成講座が開設された。
- 2 アダムス(Addams, J.)はシカゴにハル・ハウスを開設(1889年)し、「慈善でもなく、友情でもなく、専門的サービスを」の標語を掲げてセツルメント活動を展開した。
- 3 全米慈善矯正会議(1915年)において、フレックスナー(Flexner, A.)は、ソーシャルワークには科学的効果が認められないとし、「ケースワークは死んだ」と論じた。
- 4 全米慈善組織協会は全米ソーシャルワーカー協会に名称変更(1917年)し、慈善から精神分析理論に基づく友愛訪問活動の組織化を推進した。
- 5 ミルフォード会議(1923年)では、「ジェネラリスト・ソーシャルワークとは何か」をテーマに、システム論的視座から方法論の統合化の必要性が議論された。

問題 93 ブトゥリム(Butrym, Z.)が示したソーシャルワークの3つの価値前提
（「人間尊重」「人間の社会性」「人間の変化の可能性」）に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 この3つの価値前提は、それら自体がソーシャルワークの実践から生まれたソーシャルワークに独自かつ固有の価値であり、不可欠なものである。
- 2 この3つの価値前提は、相互に等しい道徳的価値である。
- 3 「人間尊重」は、個別的自由と普遍的自由との統合を図る人倫概念を示したヘーゲル学派の哲学による考え方を基盤とする。
- 4 「人間の社会性」は、人間がそれぞれにその独自性の貫徹のために他者に依存する存在であることを示す。
- 5 「人間の変化の可能性」は、環境の変化と人間の変化及び成長との因果関係に基づく決定論的な人生観に依拠する。

問題 94 事例を読んで、M児童福祉司(社会福祉士)の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

児童相談所のM児童福祉司は、主任児童委員からの通告がきっかけで、Nさん(33歳)と2人の子ども(小3女兒、小1女兒)のひとり親家庭の支援を開始した。失業による経済的困難のために生活意欲を喪失し、子どものネグレクト状態が続いて、子どもたちは食事をとれないこともあった。M児童福祉司は、数回の家庭訪問を行った。子どもの状態は変わらない。Nさんは次第に心を開いてくれ、子どもは自分でみることに、福祉事務所には以前に相談に行ったが、二度と行きたくないことなどを語った。

- 1 Nさんの公的機関に対する拒否的な感情を受容して、しばらくの間、Nさんと子どもの様子を見守ることにする。
- 2 福祉事務所のケースワーカー、小学校の担任、主任児童委員、その他関係者を集めて、今後の援助方針を検討する。
- 3 Nさんの福祉事務所に対する不信感を尊重して、M児童福祉司が生活保護申請の手続きを進める。
- 4 Nさんに対し、親の役割を自覚して子どもの世話をきちんとするよう助言する。
- 5 子どもの一時保護承諾に向けたNさんへの説得を、小学校の担任に依頼する。

問題 95 児童虐待を担当する児童福祉司(社会福祉士)の守秘義務に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 施設入所措置の場合、児童養護施設に子どもの養育者以外の親族に関する情報を提供してはならない。
- 2 虐待防止の啓発のために、自分の担当する虐待ケースについての個別的な情報を地域の子育て支援団体連絡会に提供してもよい。
- 3 近隣住民からの虐待の通告について、通告者を特定させるような情報を他に漏らしてはならない。
- 4 公務員である児童福祉司の守秘義務違反については、刑事責任の問題にはなるが、民事責任の問題としては扱われない。
- 5 子どもの養育支援を行うために、虐待している親の了解がなくても、虐待を心配する近隣住民に情報を提供できる。

問題 96 ソーシャルワークの専門職倫理に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ソーシャルワーカーは、法制度の規定のもとでその実践を行うので、制度とのジレンマや矛盾を起こすことはない。
- 2 守秘義務を遂行することにより第三者に危害が及ぶことが予測される場合などは、クライアントの個人情報を開示してもよいと考えられている。
- 3 倫理的原理の優先順位を明らかにした「倫理的原理のスクリーン(Ethical Principles Screen : EPS)」では、クライアントの生活の質が最も優先される。
- 4 アメリカの「マネジドケア(managed care)」では、ソーシャルワーカーの裁量と患者の自己決定に矛盾が起きることはない。
- 5 子ども虐待のケースにおいて、子どもの権利と親の権利の間でジレンマが現れる場合は、子どもの年齢や状況にかかわらず、子どもの希望に従い支援を行う。

問題 97 ジェネラリスト・アプローチに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生活上の逆機能が現れた問題の内的・心理的原因と外的・社会的原因の両方を認識し、個人が社会関係のなかで自らのニーズを充足することを目指す。
- 2 従来のソーシャルワークの分類の枠を超えて、社会構成主義の立場から包括的に援助を展開することを目指す。
- 3 ケアマネジメントと類似点が多いこともあって、我が国においては高齢者福祉分野に特化して用いられている。
- 4 総合的・包括的な視点からのニーズの把握と生活への介入が、セルフアドボカシーなど当事者運動の立場からは、生活の管理統制につながるとして批判を受けることがある。
- 5 援助の過程においては、ミクロ、メゾ、マクロの各レベルごとに、それぞれ異なるジェネラリスト・アプローチ固有の方法が開発されている。

相談援助の理論と方法

問題 98 ベルタランフィ (Bertalanffy, L.) の「一般システム理論」を構成する概念に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 システムを、有機体としてではなく、機械論的な立場からとらえる。
- 2 システムを、外部環境に対して開かれている開放システムとしてとらえる。
- 3 システムの変容結果は、初期条件によって決定づけられるものとする。
- 4 システムを、要素還元主義の立場から、全体は部分の総和であるとする。
- 5 個々のシステムを独立したものとしてとらえ、システム間の非階層性を強調する。

問題 99 事例を読んで、家族システムの視点に基づいたA社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

Bさん(48歳、男性)は、専業主婦の妻(46歳)、息子(17歳)、娘(14歳)と4人暮らしである。Bさんは、優秀な会社員であり、家族関係も良好であった。ところがBさんは、半年くらい前から物忘れが増え、仕事のミスが目立ち、病院で検査をした結果、若年性の認知症であると告げられた。Bさんは自暴自棄になり、妻や2人の子どもに対して当たり散らすなど、家族関係は悪化した。妻から相談を受けた医療ソーシャルワーカーのA社会福祉士は、Bさんとその家族に対応した。

- 1 家族間相互のストレスを緩和するために、一時的に別居することを勧めた。
- 2 家族システムの開放を目指して、近隣住民にBさんの家族を頻繁に訪問して見守ってもらうように依頼した。
- 3 家族関係悪化の原因は、Bさんの荒れた態度だと判断し、その改善を図るために、Bさんとの面接を繰り返した。
- 4 家族の規範に配慮しつつ、Bさんの状態に対応して、それぞれの役割を見直すよう家族で話し合うことを促した。
- 5 家族内で問題が解決できるように、妻との面接を繰り返した。

問題 100 事例を読んで、C社会福祉士による生活モデルに基づいた対応に関する次の記述のうち、この段階で最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

Dさん(59歳)は刑務所での生活が長かった。独身で身寄りはない。出所後のDさんの地域生活の支援は、相談支援事業所のC社会福祉士が担当している。療育手帳の発給を受けた後、Dさんは、現在、中学校時代の同級生が経営する会社で、廃品回収の職に就いている。社長は、Dさんのために、社長命令で若手社員をサポート役として付けた。しかし、Dさんは廃品回収の仕事をなかなか覚えることができず、知らない土地での寮暮らしのため精神的にも不安定になってしまった。DさんとC社会福祉士との信頼関係は構築されており、定期的な面接のなかではDさんからの不満も聞いている。そして、最近では、頑固なDさんとサポート役の若手社員との関係も悪くなってきており、社長自身も困惑している。

- 1 相手が年下の社員でも、敬語を使い低姿勢で接するようDさんに指導する。
- 2 Dさんが廃品回収業務で自立できるように、丁寧な技術指導を行う。
- 3 新人であるDさんのために、全入寮者による歓迎会開催を社長に提案する。
- 4 社長にDさんへの協力を再度求め、関係者による話し合いへの同席を依頼する。
- 5 地元の自治会長にDさんを紹介して、地域活動への参加を勧める。

問題 101 相談援助における「個人」と「環境」をめぐる諸説に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ジャーメイン(Germain, C.)らは、生態学の視点を用いて、個人に焦点化した適応概念について説明した。
- 2 ホリス(Hollis, F.)は、パーソナリティの発達を目指して、個人と社会環境との間を個別に意識的に調整することについて論じた。
- 3 パールマン(Perlman, H.)は、役割概念を用いて、役割ネットワークのなかで生成している存在として個人をとらえた。
- 4 バートレット(Bartlett, H.)は、人間にとってふさわしい場所の質は、その人の願望、能力、自信、環境の資源の機能によって決定されるとした。
- 5 ゴスチャ(Goscha, R.)らは、社会生活機能の概念を、環境からの要求と個人が試みる対処との交換及び均衡に焦点化してとらえた。

問題 102 課題中心アプローチに関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 リード(Reid, W.)とエプスタイン(Epstein, L.)によって開発され、心理社会的アプローチ、問題解決アプローチ、行動変容アプローチなどの影響を受けて発達した。
- 2 ターゲットとなる問題は、クライアントの気づきの有無にかかわらず、クライアントの努力で解決できる可能性があるという基準によって選択される。
- 3 様々なアプローチを折衷したものであるため、それらを統合するためにシステム理論をその基礎理論としている。
- 4 現在の課題の元となる問題の原因を解明することから援助を始め、その原因の除去を援助の目標とする。
- 5 時間的な構造が重要と考え、援助に要する期間を早い段階から定めることを重視し援助を進める。

問題 103 ソーシャルワークのアプローチに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 危機介入アプローチは、急性の心理的危機状態にあるクライアントに対して、新しい対処パターンを教示しつつ、長期処遇で対処能力を強化する。
- 2 実存主義アプローチは、実存主義思想による概念を用いて、クライアントが自らの存在意味を把握し、自己を安定させることで、疎外からの解放を目指す。
- 3 行動変容アプローチは、学習理論をソーシャルワーク理論に導入したもので、クライアントのコンピテンスの消去や強化により、問題行動全体の変容を図る。
- 4 解決志向アプローチは、社会変革のために、ソーシャルワーカーが解決イメージを提示しながら、解決方法を構築する。
- 5 フェミニストアプローチは、女性が体験している現実を自ら認識させ、個人が抱える問題の解決を意図した治療的なかわりを支援の焦点とする。

問題 104 事例を読んで、E 社会福祉士による F さんへの援助に関する次の記述のうち、社会生活技能訓練に基づく支援として最も適切なものを 1 つ選びなさい。

〔事 例〕

障害者就労支援事業所の E 社会福祉士は、就労後の職場での適応、定着を図るために、共通の課題をもつ知的障害のある若い利用者のグループで社会生活技能訓練を行っている。参加者の F さん(30 歳、男性)は清掃作業を行う会社に就職し、3 か月が過ぎたところである。派遣されたビルでの清掃の手順等も覚えて慣れてきたが、同僚や上司、派遣先の人とどう接していいのか分からず、疎外感^{あいさつ}をもち大変悩んでいた。このままでは人間関係が苦痛で仕事に行けなくなるという不安や、挨拶^{あいさつ}が大変苦手でありそれを克服したいという気持ち^{あいさつ}をもち、社会生活技能訓練を行うこのグループに参加している。

- 1 F さんの疎外感や不安感の克服のために、グループで受容しあえるように導く。
- 2 上司にグループ活動への参加を依頼し、その場で指導や助言を行ってもらう。
- 3 挨拶^{あいさつ}が実際の場面でうまくできるよう、目標を設定して、練習に取り組む。
- 4 清掃技術向上のために技術指導者を派遣し、職場での実践的な支援を提供する。
- 5 F さんの人間関係の苦痛の緩和のために、できるだけ人と接触しなくて済む方法を考えて、練習する。

問題 105 事例を読んで、G相談員(社会福祉士)の対応に関する次の記述のうち、この時点で最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

ドメスティック・バイオレンスの被害者を支援する特定非営利活動法人に勤めるG相談員は、ある日、事務所に初めて電話をかけてきた女性による電話相談を受けた。この女性は60代で、現在、夫と二人暮らしをしている。最近、数年前に定年退職した夫がささいなことで怒り出すことがあるのだという。昨日も料理のことでいきなり怒り出し、口論となった末、暴言を浴びせられたとのことである。女性は、遠方に住む息子をはじめ、友人や親族にも相談できず、誰かに話を聞いてもらいたくて、この特定非営利活動法人に電話してきた。

- 1 氏名、住所を尋ね、地域の配偶者暴力相談支援センターを紹介する。
- 2 要点をメモしながら、すぐに結論を出さずに不安や不満を聴くことに努める。
- 3 虐待チェックリストを用いて質問し、虐待の状況と原因を明らかにする。
- 4 この特定非営利活動法人がシェルターをもっていることを伝え、入所を勧める。
- 5 直接会って面談した方が効果的であると伝え、来所するよう助言する。

問題 106 事例を読んで、総合病院のHソーシャルワーカー(社会福祉士)の対応に関する次の記述のうち、この段階で最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

アルバイトで生計を立てていた一人暮らしのJさん(48歳、男性)は、ある夜、酔って駅の階段から転落して足を骨折し、総合病院に救急搬送された。入院中に肝機能障害と診断された。現在は生活保護を受けてアパートで暮らしており、通院治療を受けている。ある日、Jさんは大量に飲酒し、せっかく見つけた仕事を失い、アルコール依存症との診断を受けた。また、最近では隣人ともたびたび口げんかをするようになった。主治医からの連絡を受けたHソーシャルワーカーは支援を行うこととした。Jさんはアパートで一人暮らしを続けていくことを希望している。

- 1 隣人に対して、Jさんの状況を説明して謝罪する。
- 2 Jさんとかかわり続けながら、アルコール依存症者の自助グループを紹介する。
- 3 Jさんが自分の問題状況に気付けるように、しばらく経過を見守る。
- 4 一人暮らしは困難であることを伝えて、生活保護施設への入所を促す。
- 5 主治医とともに、Jさんのアルコール専門病院への入院手続きを行う。

問題 107 事例を読んで、K生活相談員(社会福祉士)によるグリーフケアに関する次の記述のうち、この段階で最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

Lさん(85歳、女性)は、3年前に脳梗塞のうこうそくを患ってから半身麻痺はんしんまひとなり、自宅での生活を断念してP特別養護老人ホームに入所している。現在、要介護4の判定を受けており、ほぼ寝たきりの状態であるが、認知機能は比較的保たれており、日常的な会話は行うことができる。最近、長男夫婦から病院に入院していた夫が亡くなったことを聞き、ため息については「夫を弔いたい」と訴えている。K生活相談員は、ケアワーカーから様子を見てほしいという依頼を受け、ベッドサイドでLさんの手を軽く握りながら、「おつらいですね・・・」と話しかけた。Lさんは涙をうかべながら、「夫の最期のときに何もしてあげられなかった。私がこうして生きているのが申し訳ない」と語り始めた。

- 1 Lさんの気持ちに寄り添いながら、時間が解決してくれると慰める。
- 2 Lさんの心痛を考慮し、悲しみを増幅させないよう別の話題に切り替える。
- 3 夫との生活を思い出しながら、悲しみや後悔を十分に語れるよう促す。
- 4 現在の生活に焦点をあて、前向きに生きるよう励ます。
- 5 Lさんが良き妻であったという、長男の評価を伝える。

問題 108 事例を読んで、Mソーシャルワーカー(社会福祉士)の効果測定に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

エイズ治療拠点病院に勤めるMソーシャルワーカーは、日常的にH I V感染者やエイズ患者にかかわることが多い。H I V感染を告知された人の多くは、ショックを受け、絶望感を感じ、不安にさいなまれる。Mソーシャルワーカーは、これまで、そのようなクライアントへの支援として危機介入を行ってきた。

Mソーシャルワーカーは、自分の危機介入のあり方が本当に役立っているのか確認するために、病院の倫理審査委員会に諮った上で、効果測定を行うことにした。

- 1 これまで担当したクライアント全員に、Mソーシャルワーカーの対応に関するクライアントの考えを匿名で自由に記述して返送してもらう郵送調査を行う。
- 2 患者の不安に焦点を当てて、介入の前後でどのように変化したかをケースごとにモニターし、複数ケースの傾向をみる。
- 3 クライアントのエイズについての理解度が深まったか調べるために、現在、支援しているクライアントにアンケート調査を実施する。
- 4 主治医と家族に、クライアントの現在の様子についてインタビューする。
- 5 一般病院に協力を得て、そこでH I V感染を告知された患者グループとMソーシャルワーカーが支援した患者グループを比較し、その違いを検証する。

問題 109 解決志向アプローチにおける質問法に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ミラクル・クエスションは、クライアントがこれまでに経験した奇跡的な体験について尋ねる。
- 2 スケーリング・クエスションは、クライアントの経験や今後の見通しを数値に置き換えた評価を尋ねる。
- 3 コーピング・クエスションは、クライアントがこれからどのように問題に対処するかを尋ねる。
- 4 エクセプション・クエスションは、クライアントがこれまでに経験した例外的な失敗体験について尋ねる。
- 5 サバイバル・クエスションは、クライアントがこれから生き抜いていく見通しについて尋ねる。

問題 110 事例を読んで、N社会福祉士のとるべき対応に関する次の記述のうち、この段階で最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

A子(11歳)は、半年前から不登校の状態にある。成績がよく、友人関係も良好なA子が不登校になる原因は、特に見当たらない。しかし、家族や小学校の担任が何度通学を促しても、A子は学校に行こうとはしなかった。不登校児支援の特定非営利活動法人に勤務するN社会福祉士は、家族の依頼を受けて、A子の自宅を初めて訪問した。A子は、最初は何も話さなかったが、少しずつ自分の家族について話し始めた。

- 1 開かれた質問を用いて不登校の理由を詳細に尋ねる。
- 2 家族関係に関する閉ざされた質問を連続して行う。
- 3 A子の発言のなかの重要な語句や内容を、A子にフィードバックして示す。
- 4 A子の登校意欲を高めるために要約の技法を用いたやりとりを行う。
- 5 A子が抱える葛藤^{かつとう}に焦点を当てて直面化を図る。

問題 111 地域包括支援センターのB社会福祉士は、一人暮らしのCさん(70歳、女性)が足首の骨折の治療を終え、自宅で生活していることを知った。Cさんは介護予防ケアマネジメントの対象となっている。B社会福祉士は、電話連絡の上、家庭訪問を行い、Cさんの話を聴くとともに介護予防プログラム等の説明を行った。Cさんは再度の骨折を恐れており、介護予防プログラムへの参加を希望した。しかし、家からの交通の便が悪く、移動手段がないということで利用が困難であった。B社会福祉士は、Cさんの希望が強いこともあり、また必要なプログラムであると考え、地域のボランティアグループに送迎サービスの実施を依頼し、プログラムの利用を実現した。

次のうち、B社会福祉士が行ったケアマネジメントの実践モデルとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 サービス提供者指向モデル
- 2 利用者指向モデル
- 3 セルフケアマネジメントモデル
- 4 積極的地域援助モデル
- 5 サービス仲介モデル

問題 112 事例を読んで、D相談員(社会福祉士)の対応に関する次の記述のうち、この段階における対応で、より適切なものを2つ選びなさい。

〔事 例〕

U市の児童福祉課のD相談員に、子育て支援センターの保育士から、育児不安気味の母親が相談を希望しているという連絡が入った。D相談員はすぐに自宅に出向き、Eさん(33歳)が長男(2か月)を出産後、うつ状態で、外出もあまりできないこと、近くに頼れる人がいないこと、夫は仕事が多忙で育児に協力的でないことなどの話を聞いて、援助が必要と判断した。D相談員はすぐにネットワーク会議を開き、市保健センター保健師、子育て支援センター保育士、主任児童委員を集めて、援助方針を協議し、各々の役割分担を検討した。

- 1 市保健センターが行っている乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)を利用して、Eさんとの支援関係を築くようにする。
- 2 夫に育児に積極的に参加するよう主任児童委員から促してもらい、定期的な報告を夫に求め、自らも含めた三者で確認する。
- 3 ネットワーク機関からの情報を自ら一元的に管理し、必要とされる支援も自らが行う。
- 4 Eさんのニーズを確認しながら、養育支援訪問事業について説明する。
- 5 子育てサークルの情報を伝えて参加を促すため、子育て支援センターの職員からEさん宅へパンフレットを郵送させる。

問題 113 社会福祉施設内でのケース会議開催の留意点に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 緊張感のある会議にするため、司会者やケース提供者による事前の打合せでは、事例の詳細には触れずに、主に時間配分について検討しておく。
- 2 施設に所属する職員が集まる貴重な機会なので、時間の制約を設けず、多くのケースについて、できるだけ丁寧に検討できるようにする。
- 3 援助内容についての正しい見解を共有することが大切なので、職員間の意見が分かれた場合は、多数決により民主的に決定する。
- 4 ケース会議は、援助の向上のみならず、職員教育の意味合いもあることから、終了後は会議内容の要約を参加メンバーで交代して作成し、共有する。
- 5 施設や利用者に対する地域の理解を促すために、希望する地域住民にはケース会議の傍聴を認め、啓発活動の機会とする。

問題 114 グループワークの作業期における援助者の役割に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 プログラム活動を順調に進めていくことが必要な時期であることから、できるだけ具体的な指示を出しながら、グループ全体の力量を高める。
- 2 サブグループができた場合には、グループ全体の仲間意識の構築やグループ運営に良い影響を与えるかどうかを見極めて対応する。
- 3 メンバー同士の衝突や摩擦が起こると、グループ活動による効果が得られなくなるので、できるだけ事前に回避するように働きかける。
- 4 孤立するメンバーが現れたときには、仲間意識を高めるチャンスとして、そのメンバーに個別にアプローチするよりも、対応はグループの主体性にゆだねる。
- 5 メンバー同士の交流が深まった時期なので、グループ内の役割分担をいったん解消して、メンバーのグループからの自立を促すように働きかける。

問題 115 事例を読んで、児童館のF職員(社会福祉士)によるグループワークの終結期における対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

昨年7月に、児童館で行っている子育て講座をきっかけにメンバー8人の子育てサークルができあがった。児童館は、その後の活動拠点ともなっている。F職員は、サークルの運営について相談に乗るとともに、様々な子育て支援情報の提供を行い、グループワーカーとしてグループ活動に関与してきた。この結果、グループ内での相互作用が高まり、多様な働きかけのなかで得た成果にメンバーは満足し、グループワークは成功したように思えた。しかし、子どもたちの幼稚園入園とともにサークル活動も終了する段階になると、メンバーの何人かが、F職員に子どもの養育などについての不安を個別に表明してきた。

- 1 グループのリーダーに終結に向けた取組を任せる。
- 2 最後の数回のグループ活動では、子育てに関する知識を補完することを目的に子育て講演会を実施する。
- 3 活動終了後における自助グループの立ち上げを行い、そこへの参加をメンバー全員に求める。
- 4 メンバーの不安を解消するため、このグループ活動を延長する。
- 5 メンバー自身が活動を振り返り、個々の不安をメンバーで共有できる機会を設定する。

問題 116 V市社会福祉協議会では、要介護高齢者の在宅での介護を行う主たる家族介護者を対象としたグループワークを実施している。グループに参加した主婦のHさん(55歳)は、介護に協力的でない夫への不満や、自らが介護している義母との関係にストレスを抱えていた。しかし、自分のことを他人に話すのは恥ずかしいという気持ちや、こんなことで悩んでいるのは自分だけだという思いもあって、黙っていることが多かった。しかし、他のメンバーが自分と同様の悩みや協力してくれない家族の愚痴などを話すのを聞いているうちに、自分自身の状況に対して違った見方でとらえることができ、自分の気持ちや状況について、自ら表現して話をすることができるようになった。

次のうち、Hさんの変化に見られるようなグループ活動の効果を表すものとして、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 波長合わせ
- 2 観察効果
- 3 集団思考
- 4 感情転移
- 5 普遍化

問題 117 J社会福祉士が部下のK社会福祉士に対して行うスーパービジョンに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者から、K社会福祉士についての苦情を聴き、すぐにそれを施設管理者に人事考課のための情報提供として伝える。
- 2 K社会福祉士が、利用者とかかわるのがつらいと話しながら泣いてしまったので、共感を示すために一緒に泣く。
- 3 K社会福祉士の業務負担や力量、そしてケースの困難度を勘案して、担当ケース数を配慮する。
- 4 利用者への支援について、K社会福祉士から逐一報告してもらい、効率的に業務を遂行するために細かく指示を出す。
- 5 K社会福祉士が、利用者の意向を確認していないことがよくあることを指摘し、上司として自分が利用者の意向の確認を行う。

問題 118 相談援助における記録に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 叙述体による記録では、実践の説明責任を示す根拠となるよう、事実の経過とともに、面接のやりとりを発話どおりに文字化する。
- 2 他機関からの報告は、記録の客観性を担保するため、ワーカーの判断を混じえず、かつ内容の取捨選択をせずに逐語体で記述する。
- 3 ワーカー・クライアント関係を中軸に行われる実践の記録では、事実関係に加えて、ワーカーの判断やその根拠を記述する。
- 4 記録は文字情報として残されるので、状況や援助過程を明確に把握・伝達するために図式化は控え、文章で説明する。
- 5 記録はクライアントに開示されることがあるため、本人に不愉快な思いをさせないために、本人に不利益な情報は記載しないよう作成する。

福祉サービスの組織と経営

問題 119 社会福祉法人が行う事業に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 自主的に福祉サービスの質の向上に取り組むとともに、地域住民が求める限りにおいて、事業経営を透明にすることに、できるだけ協力しなくてはならない。
- 2 社会福祉事業を実施する必要があるが、当該法人の実施する事業において社会福祉事業は主たる地位を占める必要はない。
- 3 公益事業において剰余金が生じたときには、当該社会福祉法人の社会福祉事業や公益事業に充てることとされている。
- 4 収益事業として行う事業は、法人の社会的信用を傷つけるおそれがあるものや投機的なものはもちろん、福祉に関連しないものは適当ではないとされている。
- 5 社会福祉事業を行うために必要な物件について、所有権を持つべきかどうかについて、特段の定めはない。

問題 120 組織構造や環境に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 あらゆる環境に適した組織化の唯一最善の方法が存在するという考え方を、コンティンジェンシーアプローチと呼ぶ。
- 2 外部環境が不確実であるほど、組織は多くの規則や手続きを備え、明白な階層構造を持ち、中央集権化された機械的な管理システムとなる傾向にある。
- 3 有機的な管理システムでは、仕事内容が専門分化され、垂直方向のコミュニケーションが多く見られる。
- 4 官僚制は、ルールや手続き、専門化と分業、権限の階層構造などの特徴を持ち、組織を有効に機能させる上で利点がある。
- 5 組織にとって、環境不確実性の低い状況とは、外部環境が複雑で不安定な場合をいう。

問題 121 組織学習論に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 アーギリス(Argyris, C.)は、既存の枠組みとは異なる新しい可能性を探る組織の学習形態をシングルループ学習と呼び、組織が継続的に学習する上で必要であると指摘している。
- 2 他組織の成功体験や先進事例から学び、自組織に取り入れることは組織学習には含まれない。
- 3 ヘドバーク(Hedberg, B.)は、組織にとって時代遅れとなったり、有効性が失われた知識を棄却するプロセスをアンラーニング(unlearning)と呼び、これが望ましい組織学習の上で欠かせないと考えた。
- 4 組織学習は、組織が短期的に適応していくプロセスについて説明するための概念である。
- 5 共通の専門知識と情熱によってインフォーマルに結びついた人々の集団である実践共同体(community of practice)は、知識が生まれ共有される場にはならず組織の学習とは関係しない。

問題 122 コトラー(Kotler, P.)らが提唱する「ソーシャル・マーケティング」という考え方について、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ターゲット及び社会に便益をもたらすターゲットの行動に対して影響を与えるため、価値を創造し、伝達、流通させるというマーケティングの原理・手法を適用するプロセスである。
- 2 消費者による選択や顧客志向という考え方を、あまり重要視しない。
- 3 援助が必要なターゲットについて、細分化せず、同一の性格を有した、同一の集団ととらえることが特徴である。
- 4 社会問題の解決について、企業に対して社会貢献や社会的責任を求める一方、製品やサービスを開発・供給することは期待していない。
- 5 マーケティングミックス戦略の順序として、Promotion(プロモーション)が最初に決定され、次いでProduct(製品)、Price(価格)、Place(流通)の順番で決定される。

問題 123 日本の寄附の実態及び寄附の制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 日本の寄附の状況を、英米と比較すると、寄附金総額の対GDP比水準が高いことが特徴である。
- 2 日本の寄附の状況を、英米と比較すると、法人からの寄附に対して、個人からの寄附の割合が高いことが特徴である。
- 3 社会福祉法人に対して寄附を行った個人は、所得控除を受けることができる。
- 4 認定特定非営利活動法人以外の特定非営利活動法人に寄附を行った個人は、所得控除を受けることができる。
- 5 特定非営利活動法人は、寄附金を一定額受けているなど一定の基準を満たし、認定特定非営利活動法人になると、収益事業の法人税について非課税となる。

問題 124 妊娠・出産・育児に関連する法律に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 労働基準法に定められている産前産後休業の6週間の間であっても、労働者の請求があれば、就業させることができる。
- 2 「育児介護休業法」に定められている育児休業は、契約期間のある非正規職員は取得できない。
- 3 「育児介護休業法」では、病気やけがをした子のための看護休暇が取れ、日数に制限はないと規定する。
- 4 労働基準法は、妊娠中の女性に対して、請求の有無にかかわらず、深夜労働をさせてはならないと規定する。
- 5 「男女雇用機会均等法」は、女性の妊娠、出産、産前産後休業の請求や取得を理由とした解雇その他不利益な取扱いをしてはならないと規定する。

(注) 1 「育児介護休業法」とは、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」のことである。

2 「男女雇用機会均等法」とは、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」のことである。

問題 125 労働契約や就業規則に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 事業所の規模に関係なく、使用者は就業規則を作成し、所轄の労働基準監督署に届け出なければならない。
- 2 使用者は就業規則を、労働者に対して周知する必要がある。
- 3 労働契約が就業規則で定める基準に達しない労働条件を定める場合は、労働契約で定める基準が有効になる。
- 4 使用者は時間外労働や休日労働について、就業規則に規定しておくことで、労働者に命令することができる。
- 5 使用者は就業規則の変更によって労働条件を変更しようとする場合、労働者に不利益な内容であっても、労働者の過半数の合意をとれば変更できる。

高齢者に対する支援と介護保険制度

問題 126 「平成 22 年国民生活基礎調査」(厚生労働省)による「要介護者等」の家族の状況や居宅サービスの利用実態に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 「要介護者等」のいる世帯を世帯構造別にみると、多い順から、核家族世帯、三世帯世帯、その他の世帯、単独世帯となっている。
- 2 「要介護者等」との続柄別に主な介護者をみると、多い順から、配偶者、子の配偶者、子となっている。
- 3 「要介護者等」との続柄別に主な介護者をみると、家族等の親族ではなく事業者である割合が 1 割を超えている。
- 4 「要介護者等」の居宅サービスの利用状況をみると、世帯構造を問わず、訪問系のサービスの利用が最も多い。
- 5 「要介護者等」のうち要介護 5 に該当する者の同居の主な介護者について、その介護時間をみると、約 9 割が「ほとんど終日」となっている。

(注) 「要介護者等」とは、「介護保険法の要支援又は要介護と認定された者のうち、在宅の者」をいう。

問題 127 指定介護予防支援事業者が行う介護予防のための支援に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護予防サービス計画の作成に当たっては、利用者の日常生活全般を支援するために、予防給付以外の地域住民の自発的な活動によるサービスも含めて位置づける。
- 2 介護予防サービス計画の原案の内容について、利用者又はその家族に対して十分に説明した上で、口頭による利用者の同意を得ればよい。
- 3 利用者の生活機能の低下を含む解決課題の把握に当たっては、居宅訪問を行わずプライバシーに配慮して事業所内の面接室で行う。
- 4 要支援の利用者が福祉用具の貸与や販売を希望した場合は、給付対象にはならず、全額自費での購入になることを説明する。
- 5 介護予防サービスの実施状況の把握は、指定介護予防サービス事業者からの報告により6か月ごとに1回行う。

問題 128 事例を読んで、指定訪問介護事業者のMサービス提供責任者の対応に関する次の記述のうち、この時点で優先されるべきこととして最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

訪問介護を終え指定訪問介護事業所に戻ったL訪問介護員は、Mサービス提供責任者(介護福祉士)に訪問先での出来事について話した。「Nさん(84歳、女性)は軽度の左半身麻痺があり、今までテーブルに手をついて立位ができていたが、最近、筋力の低下が見られ、今日は、車いすからいす(キャスター付き)への移乗を行った際に崩れ落ちそうになり、自分も一緒に転倒しそうになった」という。

- 1 L訪問介護員と同じ体験を他の職員もしているのか、早急に情報を得る。
- 2 Nさん宅を早急に訪問し、Nさんの心身の状況を把握する。
- 3 L訪問介護員の移乗行為の介護技術に問題がないか、早急に評価する。
- 4 指定居宅支援事業所の介護支援専門員に、いすの購入を早急に依頼する。
- 5 L訪問介護員に、訪問介護記録用紙に状況を早急に記載するように指導する。

問題 129 高齢者の住環境の整備に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トイレなどで立ち上がり動作の時に使用する手すりは、高齢者の腰かけた頭の高さに水平手すりを設置する。
- 2 視覚が低下するため、部屋の色調を淡い色にし、同系色の家具を配置すると、目の疲労を予防し安全に行動できる。
- 3 聴力が低下するため、家庭内では床材や壁の材質を音の伝わりやすいものにして、音が聞こえやすい環境にする。
- 4 玄関と玄関先の段差が20 cm の場合、車いすで移動するためのスロープの勾配^{こうばい}は12分の1までを目安とする。
- 5 ドアは開閉時に身体の前後動作ができるよう、開き戸で握り式のノブが一般的に使いやすい。

問題 130 2012(平成 24)年 4 月からの介護報酬改定に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 介護報酬の改定は 3 年ごとに行われ、2009(平成 21)年 4 月からの改定では制度開始後初めての 3% プラス改定であったが、2012(平成 24)年 4 月からの改定では再び 1.2% のマイナス改定となった。
- 2 サービス付き高齢者向け住宅等と同一の建物に所在する訪問介護事業所が、その集合住宅に居住する一定数以上の高齢者にサービスを提供する場合には、介護報酬は算定できないこととされた。
- 3 介護報酬は「単位」で表され、1 単位 = 10 円が原則であるが、人件費の地域差を調整するために、各サービスの種類ごとによる人件費割合と、特甲地、甲地、乙地等全国を 5 つの地区に分けて、1 単位当たり単価が上乘せされている。
- 4 介護職員の処遇改善を継続して行うため、税を財源とする処遇改善交付金が恒久化された。
- 5 これまでは認められてこなかった介護職員による痰^{たん}の吸引等の実施を評価することとし、訪問介護における特定事業所加算及び介護老人福祉施設における日常生活継続支援加算の算定要件に、痰^{たん}の吸引等が必要な者が一定の割合いることが追加された。

問題 131 介護保険制度における各組織・団体等の役割に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村は、共同して、介護保険の財政の安定化に資する事業に必要な費用に充てるため、財政安定化基金を設けることができる。
- 2 市町村長は、地域密着型サービス事業者、居宅介護支援事業者及び介護予防支援事業者の指定を行う。
- 3 都道府県知事は、介護サービス情報の公表制度に基づき、介護サービス事業者から受けた介護サービス情報の報告に関して必要と認めるときは、調査を行うことができる。
- 4 国民健康保険団体連合会は、都道府県の委託を受けて介護サービス費等の請求に関する審査及び支払を行い、介護サービス等の質の向上に関する調査等を行う。
- 5 介護保険審査会は市町村に置かれ、保険給付に関する処分又は保険料等に関する処分にかかる審査請求の審査を行う。

問題 132 介護保険制度にかかわる専門職や人材に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護支援専門員は、要介護者等からの相談に応じ、サービス利用に向けて事業者等と連絡調整を行う者で、介護支援専門員実務研修受講試験の合格をもって登録される。
- 2 訪問介護員は、要介護者等に対して、入浴、排せつ等の介護その他の日常生活上の世話をを行う者で、介護員養成研修修了者に限りその業務が認められている。
- 3 福祉用具専門相談員は、要介護者等への福祉用具の貸与等にかかわる相談や助言を行う者で、介護保険施設に配置される。
- 4 介護相談員は、介護サービス提供の場を訪ね、サービス利用者等の話を聴き、相談に応じる者で、利用者の疑問や不満の解消やサービスの質の向上を図る。
- 5 介護認定審査会の委員は、要介護(要支援)認定の申請を行った者につき、本人に面接し、心身状況、置かれている環境などについて調査をする。

問題 133 居宅サービスにおけるサービス担当者会議に関する次の記述のうち、「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準」に照らして正しいものを1つ選びなさい。

- 1 サービス担当者会議は、居宅サービス計画にかかわる担当者を招集し、サービス利用者や家族等の情報を共有するとともに、専門的な見地からの意見を求める場である。
- 2 サービス担当者会議は、介護保険の保険者である市町村が開催し、各サービス担当者の連携を図る。
- 3 サービス担当者会議は、原則として、指定サービス等の担当者に対する照会により意見を求めることによって実施される。
- 4 サービス担当者会議は、居宅サービス計画の変更がある場合に開催され、要介護更新認定や要介護状態区分の変更の場合等は、特に必要がなければ開催しなくてもよい。
- 5 サービス担当者会議は、サービス利用者や家族の状況の把握と、指定サービス等の担当者間の連絡調整の場なので、利用者が会議に参加することは適切ではない。

問題 134 事例を読んで、W市の地域包括支援センターに勤務するA社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事 例〕

市内の民生委員Bさんが、自分の担当地域に住むCさん(79歳、女性)についての相談で地域包括支援センターに来所し、A社会福祉士が対応した。相談によると、Cさんは生涯独身で、高校教師を定年まで勤めて退職した後も1人でW市内の自分名義のマンションで暮らしてきた。身内は他県に住む甥^{おい}が1人いるが、ほとんど交流はないという。生活は自分の年金で賄えており、預貯金も多少はあるようだとのことであった。しかし、昨年夏に自宅浴室で転倒、骨折し、1か月ほど入院して自宅に戻ったが、その後自宅内の片付けや買物・外出もおっくうがり、近隣との付き合いも疎遠になってきている。介護サービスも利用していない。このまま自宅での生活を望んでいるが、どうしたらよいか、という相談であった。

- 1 Cさんは介護保険の受給者ではないので、市の高齢者福祉担当窓口に戻ってもらった。
- 2 在宅生活が希望なので、近隣住民主体の支え合いの組織化に取り組むことにした。
- 3 介護保険の認定申請ができるのは親族なので、他県に住む甥^{おい}に連絡した。
- 4 民生委員BさんをCさんの成年後見人に選任し、資産の管理を依頼した。
- 5 専門的対応も必要なので、Bさんも入れた多職種協働の地域ケア会議を開いた。

問題 135 「高齢者の居住の安定確保に関する法律」の規定に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村は高齢者居住安定確保計画で、その区域内における高齢者に対する賃貸住宅及び老人ホームの供給の目標、高齢者居宅生活支援事業に供する施設の整備の促進に関する事項などそれらの目標を達成するために必要なものを定めることができる。
- 2 サービス付き高齢者向け住宅事業とは、高齢者向けの賃貸住宅又は有料老人ホームに高齢者を入居させ、状況把握サービス、生活相談サービス、介護保険サービス、その他高齢者が日常生活を営むために必要な福祉サービスを提供する事業である。
- 3 サービス付き高齢者向け住宅事業の登録を受けている有料老人ホームの設置者については、特例として老人福祉法による有料老人ホームの事業内容の届出、事業内容の変更、廃止・休止の届出規定は適用されない。
- 4 終身建物質貸借とは、都道府県知事の認可を受け、公正証書による書面等によって契約をするときに限り、借地借家法の適用を受けて、高齢者の賃借人が死亡したときに賃貸借を終了する旨定めることができる制度である。
- 5 都道府県知事が終身建物質貸借事業の認可をする基準の一つには、賃貸住宅整備工事の完了前に敷金を受領することは構わないが、終身にわたって受領すべき家賃の全部又は一部を前払金として一括して受領しないものであることが含まれる。

児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度

問題 136 「平成 23 年人口動態統計年報」(厚生労働省)による子どもの死亡の原因に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 0 歳の年齢の死亡の原因としては、乳幼児突然死症候群が最も多い。
- 2 1 歳～4 歳の年齢の死亡の原因としては、心疾患(高血圧性を除く)が最も多い。
- 3 5 歳～9 歳の年齢の死亡の原因としては、不慮の事故が最も多い。
- 4 10 歳～14 歳の年齢の死亡の原因としては、自殺が最も多い。
- 5 15 歳～19 歳の年齢の死亡の原因としては、悪性新生物が最も多い。

問題 137 社会的養護に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 保護者のない児童、被虐待児童など家庭環境上養護を必要とする者であって、社会的養護関係施設への入所児童、里親、ファミリーホームへの委託児童の 2012(平成 24)年 3 月末時点の在籍・委託児童数は、合計 10 万人に達する。
- 2 情緒障害児短期治療施設は、軽度の情緒障害を有する児童を、短期間、入所させる施設であることから、入所期間は 1 年以内と児童福祉法で規定されている。
- 3 児童福祉法に基づく里親のうち、親族里親については、児童相談所長の判断で里親認定を行う。
- 4 社会的養護をできる限り家庭的な環境で行うために、児童の措置を行う場合については、里親委託を優先して検討するべきであるとの原則が厚生労働省より通知されている。
- 5 児童養護施設について、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令(平成 24 年 5 月 31 日厚生労働省令第 88 号)における児童指導員及び保育士の配置は、少年おおむね 6 人につき 1 人以上から、3 人につき 1 人以上に改正された。

問題 138 事例を読んで、次の記述のうち、家庭児童相談室の相談員の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

Dさん(40歳、男性)は、妻が行方不明になって1年、小学校6年生の長男に5歳の次男の保育所の送迎と留守番をさせて、なんとか1か月に10日間、朝5時に家を出て翌日朝5時に帰宅するという隔日勤務形態の仕事を続けてきた。けれども先日長男が、Dさんの夜間不在時に弟を留守番させて市内を徘徊し、補導されてしまった。最近はそのことがよくあったようだが、Dさんは全く気がつかなかった。Dさんは昼間の勤務にいずれ変更することを考えており、職場に相談したら、しばらくの間夜9時までの昼間勤務に切り替えてもらえることになった。Dさんは、子どもをできる限り手元において育てたいと考えている。

- 1 母子生活支援施設への入所を勧める。
- 2 児童養護施設への次男の入所を勧める。
- 3 放課後児童健全育成事業を長男が利用するよう勧める。
- 4 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を兄弟が利用するよう勧める。
- 5 夜間養護等事業(トワイライトステイ)を兄弟が利用するよう勧める。

問題 139 我が国の第二次世界大戦前の各法における児童の対象年齢に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 恤救規則^{じゅうきゅうきそく}は、無告の窮民であって、かつ13歳以下の孤児を救済することを規定していた。
- 2 感化法に規定されていた感化院の入院対象年齢は18歳未満であった。
- 3 工場法では、18歳未満の児童労働を禁止していた。
- 4 救護法では、貧困であって15歳以下の幼者を救済の対象としていた。
- 5 第二次世界大戦前の児童虐待防止法の対象年齢は16歳未満であった。

問題 140 児童福祉法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 児童福祉法は、親からの児童虐待の定義を規定している。
- 2 児童福祉法は、保護者とは親権者であると規定している。
- 3 児童福祉法は、障害のある子どもへの施策に関し、施設入所と特別児童扶養手当について規定している。
- 4 児童福祉法は、保育士の資格について規定している。
- 5 児童福祉法には、児童の権利に関する条約の批准後に「児童の最善の利益」の文言が追加された。

問題 141 E君(10歳)は、特別支援学校に通学している。療育手帳を所持しており、障害の程度は重度であるが、医学的治療は必要ない。母子家庭であり、日常は母親がE君を養育している。母親の体調が悪く長期の入院が必要になったため、養育者がいなくなることとなった。親族資源も活用できないので、何らかの施設利用が必要と考えられている。

次のうち、E君が利用可能な児童福祉施設として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 福祉型児童発達支援センター
- 2 児童自立支援施設
- 3 自立援助ホーム
- 4 福祉型障害児入所施設
- 5 児童家庭支援センター

問題 142 児童家庭相談における児童相談所と市町村の制度的関係に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 児童虐待を受けた児童については、住所地を管轄する市町村が通告を受理し、必要に応じ子どもの心理学的、社会学的、医学的判定を行う。
- 2 市町村は、乳児院、児童養護施設等入所型の児童福祉施設への措置を必要と認める場合には、その児童を児童相談所に送致する。
- 3 市町村長は、療育手帳についての申請を受け付け、児童相談所の判定結果をもとに療育手帳を交付する。
- 4 児童相談所長は、児童委員の職務について、市町村長に委任して必要な指示をすることができる。
- 5 児童相談所長は、児童福祉法第33条に基づく一時保護に関して、必要な場合、市町村長が一時保護するよう指示することができる。

就労支援サービス

問題 143 労働基準法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 労働関係の当事者は、労働基準法の基準を理由に現状の労働条件を引き下げることができる。
- 2 労働者とは、職業の種類を問わず、事業又は事務所に使用される者で、賃金を支払われる者をいう。
- 3 労働することを条件として、使用者が金銭を前貸しして、後日、賃金と相殺することが認められている。
- 4 都道府県労働局長は、労働基準法の規定により労使双方又は一方から紛争解決援助を求められた場合、必要な助言又は指導を行う。
- 5 使用者は、労働契約の不履行について、違約金を定めたり、損害賠償を予定する契約を結ぶことができる。

問題 144 障害者基本計画の重点施策実施5か年計画(後期5か年計画)(2008(平成20)年度～2012(平成24)年度)において、雇用・就業について掲げられている数値目標に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 期間中に達成すべき数値目標として、雇用障害者数が示されている。
- 2 期間中に達成すべき数値目標として、障害者の就業率が示されている。
- 3 期間中に達成すべき数値目標として、民間企業で雇用されている障害者の平均賃金月額が示されている。
- 4 期間中に達成すべき数値目標として、特別支援学校高等部卒業生の一般就職率が示されている。
- 5 期間中に達成すべき数値目標として、福祉施設から一般就労への年間移行者数が示されている。

問題 145 事例を読んで、生活保護受給者に対する就労支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

Fさん(50歳、男性)は、持病があり生活保護を受給している。主治医から「軽労働であれば就労可能」と言われているが、Fさん自身は就労意欲が持てず「自分に仕事ができるかどうか自信がない」と話している。Fさんを新たに担当することになった担当ケースワーカーは、Fさんの就労支援について検討を始めた。

- 1 Fさんの場合、稼働能力の活用要件として、福祉事務所の就労支援員による就労支援プログラムへの参加を義務づけることができる。
- 2 Fさんの場合、福祉事務所と公共職業安定所(ハローワーク)との連携による「福祉から就労」支援事業への参加を義務づけることが望ましい。
- 3 Fさんの場合、期限を決めて、まずは、自分自身で求職活動をしてもらうことが望ましい。
- 4 Fさんの場合、まずは、担当ケースワーカーとFさんとの信頼関係の構築から始め、自立を阻害する要因を的確に把握することが望ましい。
- 5 Fさんの場合、稼働能力の活用要件として、福祉事務所における就労意欲喚起プログラムへの参加を義務づけることができる。

問題 146 障害者が職場に適応できるよう職場に出向き、一定期間継続的に支援するとともに、職場の上司や同僚等にも必要な助言等を行う職場適応援助者(ジョブコーチ)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 職場適応援助者の就労支援の対象となる障害者は、障害者手帳を持つ者に限られる。
- 2 職場適応援助者は、地域障害者職業センターだけでなく、社会福祉法人等が設置する就労継続支援B型事業所や民間企業にも配置されている場合がある。
- 3 職場適応援助者の養成研修及び支援スキル向上研修を行っているのは、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構だけである。
- 4 職場適応援助者による就労支援を受ける障害者は、障害者自立支援法に基づき、それに要する費用について、本人の収入に応じて一部負担が求められる。
- 5 職場適応援助者の資格要件については、障害者職業カウンセラーと同様、「障害者雇用促進法」で規定されている。

(注) 「障害者雇用促進法」とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」のことである。

更生保護制度

問題 147 保護観察の実施方法である指導監督と補導援護のうち、指導監督の記述として正しいものを1つ選びなさい。

- 1 特定の犯罪的傾向を改善するための専門的処遇を実施すること。
- 2 就業中に事故に遭遇し傷害を負った者が医療及び療養を受けることを助けること。
- 3 家族との争いの絶えない保護観察対象者の生活環境を改善し、及び調整すること。
- 4 社会から逃避しがちな対象者を社会生活に適応させるために必要な生活指導を行うこと。
- 5 保護観察対象者が適切な宿泊場所を得ること、及び当該宿泊場所に帰住することを助けること。

問題 148 保護司に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保護司に委嘱する条件として社会的信望、時間的余裕、活動力などが挙げられているが、生活の安定については、法律上特に定めは置かれていない。
- 2 保護司は、地域住民という立場から更生保護に貢献することが求められるので、市町村長の推薦によって都道府県知事がこれを委嘱する。
- 3 保護観察官で十分でないところを補い、保護観察所長等の指揮監督を受けて、保護観察所等の所掌事務に従事するものとされている。
- 4 保護観察所から保護観察事件を全面的に付託されて保護観察を実施しており、自らの権限で保護観察の終了や延長等法の執行場面での判断を行っている。
- 5 保護司は民間人であるので、その職務を行うに当たって知り得た関係者の身上に関する情報の取扱いについては、公務員としての法的責任は課されない。

問題 149 少年司法制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 少年法では少年を20歳に満たないものと規定しており、少年の社会内処遇及び指導について、18歳未満の者は児童相談所、18歳以上20歳未満の者は保護観察所が所管する。
- 2 家庭裁判所で決定する保護処分のうち、保護観察に付する決定の場合は保護観察官が、少年院送致の場合は家庭裁判所調査官が、その少年の処分終了まで継続して担当する。
- 3 家庭裁判所の審判に付すべき少年について、家庭裁判所は保護観察官に命じて、少年、保護者又は参考人の取調その他の必要な調査を行わせることができる。
- 4 家庭裁判所は、事件に関する調査及び観察のために、警察官、保護観察官、保護司、児童福祉司又は児童委員に対して、必要な援助をさせることができる。
- 5 少年法の基本理念に少年の健全育成があるが、これは児童自立支援施設又は児童養護施設に送致された少年に適用され、保護観察に付された少年には適用されない。

問題 150 保護観察所が連携する関係機関・施設に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 仮釈放の決定に関して検察庁。
- 2 一般遵守事項の決定に関して裁判所。
- 3 協力雇用主の確保に関して矯正施設。
- 4 就労支援対策に関して福祉事務所。
- 5 住居の確保が困難な者に関して自立準備ホーム。